

2001年3月27日

宇部興産機械、中国現地法人を設立

宇部興産(株)(社長:常見和正)の100%子会社である宇部興産機械(株)(社長:若林敏夫)は、2001年7月1日付で中国現地法人「宇部興産機械(上海)有限公司」(資本金1.7億円、本社 中国上海市)を単独出資により設立します。WTOへの加盟を控え、今後最も成長が期待される中国市場に、現地法人を設立することにより、従来UBEが蓄積して来た納入実績やブランド力に加え、コスト競争力及びプレゼンスの強化を図り、同国でのマーケットを拡大する事を狙います。同現地法人は、宇部興産(上海)有限公司が取り扱ってきた業務の内、ダイカストマシン、射出成形機、押出プレス、堅型ミル等の産業機械の輸入販売及びそのアフターサービス業務を引継いだ上、現地生産、OEM、技術供与等の業務を加え、中国国内での生産・販売・アフターサービスの一貫した機械ビジネスを展開する事になります。更には、中国国内で調達した部品を日本へ逆輸入する事により、本社工場での生産コストの引下げも使命の一つとしています。生産工場の建設は、2001年度中に終え、2002年度より生産を開始します。

営業、アフターサービス拠点を、天津、深セン、重慶に開設し、中国国内顧客のみならず、日本や欧米からの進出企業への十分なサービスが行なえる体制を確立します。同社の商品であるダイカストマシン、押出プレス、大型射出成形機、堅型ミルは、世界でも有数のシェアを有し、既に1996年より米国の現法子会社であるUBE MACHINERY INC.(UMI:社長:河村光洋、本社 米国ミシガン州)において、ダイカストマシン、射出成形機の現地生産を行っており、今回の中国現法設立は、同社の事業戦略である世界3極体制確立のUMIに続く第2弾となります。

2003年の売上規模は、40億円。従業員は、約40名の計画です。